



## 平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社  
コード番号 2587 URL <http://www.suntory.co.jp/sbf/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥井 信宏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 市本 徹雄 TEL 03-3275-7022

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 平成26年9月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	598,100	15.5	34,783	25.9	33,038	31.3	14,850	23.8
25年12月期第2四半期	517,969	10.8	27,623	25.9	25,164	25.9	11,991	95.7

（注）包括利益 26年12月期第2四半期 3,757百万円（△92.0％） 25年12月期第2四半期 47,229百万円（595.5％）

（参考）EBITDA 26年12月期第2四半期 720億円（19.8％） 25年12月期第2四半期 601億円（21.5％）

指標の定義、計算方法等の詳細は「セグメント情報等」10ページをご覧ください。

のれん償却前四半期純利益 26年12月期第2四半期 274億円（16.9％）

25年12月期第2四半期 234億円（44.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	48.06	—
25年12月期第2四半期	55.52	—

（注）当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,351,867	578,402	40.2
25年12月期	1,256,701	592,968	44.4

（参考）自己資本 26年12月期第2四半期 544,005百万円 25年12月期 558,200百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	58.00	58.00
26年12月期	—	29.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	29.00	58.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 平成25年12月期末配当金：上場記念特別配当5円00銭を含みます。

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,260,000	12.4	85,000	16.9	78,000	16.0	35,000	12.2	113.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（参考）EBITDA 26年12月期通期（予想）1,600億円（14.6％）

のれん償却前当期純利益 26年12月期通期（予想）585億円（7.5％）

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	309,000,000株	25年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	一株	25年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	309,000,000株	25年12月期2Q	216,000,000株

（注）当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2014年1月1日～2014年6月30日）の世界経済は、一部に弱さが見られるものの、全体としては緩やかに回復しました。わが国経済についても、緩やかな回復基調が続きましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要と、その反動がありました。

このような状況の中、当社グループはブランド強化により需要を喚起し、国内・国際事業両輪で更なる成長を図りました。また、各社の知見を活かしたグループ全体での品質の向上や、コスト革新による収益力強化にも取り組みました。

国内セグメントでは、4月に消費税率の引き上げが実施されましたが、重点ブランドの強化やコスト削減等、これまで進めてきた取組みを継続・強化し、更なる利益成長に向けて一層強固な事業構造への変革を進めました。また、付加価値の高い特定保健用食品や、フレーバーウォーターの新商品を市場に投入し、新たな需要を喚起しました。

国際セグメントでは、各エリアにおける重点ブランドの更なる強化やコスト削減等を実施しました。欧州では、オレンジナ・シュウェップス・グループと、1月に発足したLucozade Ribena Suntory Limitedにおけるシナジーを創出するため、より効率的な事業基盤の構築に取り組みました。また、アジアにおいては現地の需要を迅速かつ的確に捉えるため、商品開発機能やマーケティング体制等を強化しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,981億円（前年同期比15.5%増）、営業利益は348億円（前年同期比25.9%増）、経常利益は330億円（前年同期比31.3%増）、四半期純利益は149億円（前年同期比23.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### [国内セグメント]

「サントリー天然水」は、「清冽でおいしい水」「ナチュラル&ヘルシー」をブランド独自の価値として訴求しました。「サントリー 南アルプスの天然水 スパークリング」「同 レモン」が無糖炭酸水市場の拡大に貢献したほか、4月に発売したフレーバーウォーター「サントリー 南アルプスの天然水&朝摘みオレンジ」は、中味のおいしさに高い評価をいただき、当初の年間販売目標を上方修正しました。ブランド全体の販売数量は前年同期を大幅に上回りました。

「BOSS」は主力商品（「レインボーマウンテンブレンド」「贅沢微糖」「無糖ブラック」「カフェオレ」等）において、ブランド強化活動が奏功し、販売数量が大きく伸長しました。

「伊右衛門」ブランドは「伊右衛門」に加え、昨年10月に発売した特定保健用食品「特茶」が引き続き好調に推移し、販売数量を着実に伸ばしました。「特茶」は家庭での飲用需要の拡大に対応し、5月に1Lペットボトルを発売しました。

「PEPSI」は、3月に中味・パッケージをリニューアルした「ペプシネックス ゼロ」の話題性ある広告宣伝活動も奏功し、販売数量は前年同期を上回りました。

「サントリー ウーロン茶」は、継続してマーケティング活動を展開しましたが、販売数量は前年同期を下回りました。

「GREEN DA・KA・RA」は、冬の乾燥や夏の熱中症対策の水分補給飲料として認知度が更に高まり、大幅な販売数量増につながりました。また「GREEN DA・KA・RA やさしい麦茶」も好調に推移しました。果汁入り炭酸飲料「オレンジナ」は、お客様の多様なニーズにお応えして1.2Lペットボトルを発売したこと等により、販売数量は前年同期を大きく上回りました。

健康志向の高まりを背景に注目を集める特定保健用食品は、当社が市場拡大を牽引しました。「伊右衛門 特茶」に、「ボス グリーン」「サントリー 黒烏龍茶」「サントリー 胡麻麦茶」「ペプシ スペシャル」を加えた特定保健用食品合計の販売数量は、前年同期を大幅に上回りました。

収益性向上のための取組みでは、500mlペットボトルを中心とした販売強化に加え、ペットボトルの更なる軽量化等、生産・物流におけるコスト革新を引き続き行いました。

これらの結果、国内セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおり、増収増益となりました。

国内セグメント売上高 3,437億円 (前年同期比3.7%増)  
国内セグメント利益 192億円 (前年同期比13.5%増)

#### [国際セグメント]

欧州では、フランスやスペインにおいて「Orangina」「Schweppes」、英国において「Lucozade」「Ribena」等の主力ブランドに集中したマーケティング活動を実施しました。またスペインでは業務用の営業体制を強化しました。4月より本格的に活動を開始したSuntory Beverage & Food Europe Limitedは、欧州全体での成長に向けて、生産や販売をはじめとする経営基盤の最適化やシナジーの創出に取り組んでいます。

オセアニアでは、主力のエナジードリンク「V」に、新フレーバー商品を投入したほか、TV-CMや店頭プロモーションを強化する等、ブランドの活性化に取り組みました。

アジアでは、経済成長が続く各国において事業基盤の強化や、新商品の投入等による事業拡大に積極的に取り組みました。タイでは不安定な経済環境が、主力の健康食品「BRAND'S Essence of Chicken」の販売に影響しましたが、インドネシアの「MYTEA[ウーロン茶]」、ベトナムの「TEA+[ウーロン茶]」等、サントリーブランド商品の販売数量が着実に伸長しました。

米州ではノースカロライナ州を中心にペプシブランドの更なる販売強化に加え、営業や物流等、事業効率の改善を進めました。

各エリアにおける売上拡大の活動に加え、国内で培った研究開発技術やコスト改善のためのノウハウを海外へ展開し、品質の更なる向上及び収益力強化に取り組みました。

これらの結果、国際セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおり、増収増益となりました。

国際セグメント売上高 2,544億円 (前年同期比36.4%増)  
国際セグメント利益 282億円 (前年同期比27.0%増)

#### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、有価証券等の増加により、前連結会計年度末に比べ952億円増加して1兆3,519億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、有利子負債等の増加により、前連結会計年度末に比べ1,097億円増加して7,735億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ146億円減少して5,784億円となりました。

当第2四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ557億円増加し、1,016億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益281億円、減価償却費247億円、仕入債務の増加171億円等があったものの、売上債権の増加491億円等により、資金の収入は前年同四半期に比べ24億円減少し、309億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出271億円等があったものの、前年同四半期に発生した連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出122億円がなくなったこと等により、資金の支出は前年同四半期に比べ123億円減少し、268億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,365億円、社債の発行による収入398億円、短期借入金の減少759億円等により、資金の収入は前年同四半期に比べ375億円増加し、528億円の収入となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年12月期の連結業績予想については、2014年2月14日に発表しました通期の連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,869	72,618
受取手形及び売掛金	126,116	173,975
有価証券	-	29,000
商品及び製品	40,140	49,708
仕掛品	2,991	4,072
原材料及び貯蔵品	24,523	27,184
その他	44,000	51,758
貸倒引当金	△320	△363
流動資産合計	283,321	407,955
固定資産		
有形固定資産	312,820	308,592
無形固定資産		
のれん	400,050	376,296
商標権	184,942	184,474
その他	37,656	36,244
無形固定資産合計	622,649	597,015
投資その他の資産		
投資有価証券	17,820	17,994
その他	19,800	19,668
貸倒引当金	△842	△423
投資その他の資産合計	36,778	37,238
固定資産合計	972,249	942,846
繰延資産	1,131	1,065
資産合計	1,256,701	1,351,867

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,794	116,001
電子記録債務	14,696	17,393
短期借入金	156,772	65,549
コマーシャル・ペーパー	16,000	15,000
未払法人税等	11,227	10,002
賞与引当金	3,949	2,954
リース債務	1,432	1,159
その他	142,764	171,164
流動負債合計	446,636	399,225
固定負債		
社債	-	40,000
長期借入金	129,346	248,771
退職給付引当金	6,320	7,074
役員退職慰労引当金	23	8
リース債務	2,760	2,402
その他	78,645	75,981
固定負債合計	217,096	374,238
負債合計	663,733	773,464
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	192,701	192,701
利益剰余金	141,077	137,977
株主資本合計	502,163	499,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	963	1,158
繰延ヘッジ損益	264	△90
為替換算調整勘定	54,809	43,873
その他の包括利益累計額合計	56,037	44,941
少数株主持分	34,767	34,397
純資産合計	592,968	578,402
負債純資産合計	1,256,701	1,351,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	517,969	598,100
売上原価	229,745	272,140
売上総利益	288,223	325,960
販売費及び一般管理費	260,599	291,176
営業利益	27,623	34,783
営業外収益		
受取利息	155	148
受取配当金	95	106
持分法による投資利益	280	386
その他	379	608
営業外収益合計	911	1,249
営業外費用		
支払利息	2,467	2,254
為替差損	731	-
その他	171	740
営業外費用合計	3,370	2,995
経常利益	25,164	33,038
特別利益		
固定資産売却益	27	101
受取保険金	1,051	-
組織再編益	2,319	-
その他	10	25
特別利益合計	3,408	126
特別損失		
固定資産廃棄損	1,117	1,381
組織再編関連費用	1,755	2,965
その他	103	668
特別損失合計	2,976	5,016
税金等調整前四半期純利益	25,595	28,149
法人税等	11,288	11,805
少数株主損益調整前四半期純利益	14,307	16,343
少数株主利益	2,315	1,493
四半期純利益	11,991	14,850

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,307	16,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	314	195
繰延ヘッジ損益	△91	△342
為替換算調整勘定	32,054	△12,252
持分法適用会社に対する持分相当額	645	△187
その他の包括利益合計	32,922	△12,586
四半期包括利益	47,229	3,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,777	3,754
少数株主に係る四半期包括利益	4,452	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	25,595	28,149
減価償却費	21,087	24,727
のれん償却額	11,422	12,532
受取利息及び受取配当金	△251	△255
支払利息	2,467	2,254
固定資産廃棄損	1,117	1,381
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,500	△49,091
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,092	△14,206
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,807	17,083
その他	12,754	24,492
小計	44,407	47,068
利息及び配当金の受取額	376	284
利息の支払額	△1,887	△1,886
法人税等の支払額	△9,628	△14,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,267	30,860
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△26,232	△27,071
有形固定資産の売却による収入	84	300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△12,209	—
その他	△675	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,032	△26,776
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	26,155	△75,911
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	△1,000
長期借入れによる収入	54,785	136,491
長期借入金の返済による支出	△51,284	△27,524
リース債務の返済による支出	△822	△825
社債の発行による収入	—	39,827
配当金の支払額	△12,915	△17,922
少数株主への配当金の支払額	△647	△372
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,271	52,761
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,796	△1,096
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,302	55,748
現金及び現金同等物の期首残高	26,061	45,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,363	101,599

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	331,483	186,485	517,969	—	517,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	510	510	△510	—
計	331,483	186,996	518,480	△510	517,969
セグメント利益 (注) 3	16,882	22,163	39,046	△11,422	27,623

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位:百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	16,882	22,163	39,046
減価償却費	14,608	6,479	21,087
EBITDA ※	31,490	28,642	60,133

※ EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した売上高、利益及びEBITDAの内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	74,097	19,656	56,548	36,183	186,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	510	—	—	—	510
計	74,608	19,656	56,548	36,183	186,996
セグメント利益	11,531	2,344	4,707	3,579	22,163
減価償却費	2,225	570	2,248	1,433	6,479
EBITDA	13,757	2,915	6,955	5,013	28,642

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	343,664	254,436	598,100	—	598,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	688	688	△688	—
計	343,664	255,124	598,789	△688	598,100
セグメント利益 (注) 3	19,161	28,153	47,315	△12,532	34,783

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位:百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	19,161	28,153	47,315
減価償却費	15,019	9,708	24,727
EBITDA ※	34,181	37,862	72,043

※ EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した売上高、利益及びEBITDAの内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	129,404	20,520	70,035	34,475	254,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	688	—	—	—	688
計	130,093	20,520	70,035	34,475	255,124
セグメント利益	18,459	2,117	4,046	3,529	28,153
減価償却費	4,214	685	3,439	1,368	9,708
EBITDA	22,673	2,803	7,486	4,898	37,862

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。